

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら宝木教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外活動や外出の機会を多く設け、活動の幅を広げている	利用される子どもたちをグループ分けし、人数や天候によって室内と外活動を考慮し活動場所を考えている。毎回同じようなメンバーにせずたくさんの友達と関われるよう工夫している。	天候によっては外出先が固定化されてしまうことがあるため、室内活動のバリエーションを増やしていきたい。子どもたちも成長してきたため、安全に活動できるよう努めていきたい。
2	発達に合わせ『できた』という達成感もてるよう、プログラムの取り組みに変化をつけている。	同じ活動であっても、発達や特性に合わせアプローチを変えている。意欲的に取り組めるよう環境を整えたりアプローチの方法を職員で意見を出し合い共有している。	子どもたちの成長・発達が現在どのような様子か把握し、理解していくことが必要とされる。カンファレンスなどで意見交換を行い、情報共有していく。
3	連絡帳や送迎時、モニタリングで活動の報告を行っている。	活動の報告や日々の成長を毎日のミーティング時に報告し合い情報共有するようにしている。 また、ヒヤリハットを作成し、安全に活動できる環境を整えたり外出先を検討している。	安心安全にご利用いただけるよう情報共有を行い、保護者の方との信頼関係を築くとともに、気軽に相談できる場所に慣れるよう努めていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の子どもたちとの交流が少なかった。	公園などであいさつ程度の多少の関わりは持てているが、一緒に活動するような交流は設けることができていない。	保護者の方などの意見に耳を傾け、ご要望があれば機会を設けられるよう努めていく。
2	保護者への支援や保護者会などの開催がなく、保護者同士の交流が持てなかった。	仕事をされている保護者が多く、参加が負担となってしまうのではと考えたため。	保護者の方からのご要望があれば開催できるよう努めていく。
3			